

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: R6年1月22日

事業所名: スパークとよおか

サービス種類: 児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じた既定の広さは確保しているが、運動療育のためしれ以上の広さが必要となり、希望が多い時間帯ではシェアになるため狭く感じることもある。	・室内の際はスペースが足りない ・シェアの時、狭く感じることもある	・時間帯による子どもの人数の調整 ・場所の検討
	2 職員の適切な配置	既定の人員基準には達しているが、基本的に子ども1人に対して1人の療育士が関わるようにしているため、職員数が足りないと感じるときがある。	・職員数が少ない ・現場の先生が一生懸命にやっているのに事務局さんが児童について「障がいが入っていると成長が難しい」等と心のない発言をしたことがある。 ・室内はバリアフリー化していない	・職員の配置を検討する ・そのような意図の発言はしていないが、今後は誤解のないように慎重に言葉を選び、丁寧に説明することを心掛けていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	怪我のないようにマットを敷いている		・自閉傾向を改善するため、障害特性に応じた設備整備等は行わない
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃や定期的な換気を行っている	・スペースも十分で、子どもたちが楽しめるように工夫がされている	・定期的に季節に合わせた環境を整えていく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	療育に関しては、療育後や空き時間を利用しお子様の情報(療育内容や様子)を共有している 事務処理に関しては、空き時間を利用し取り組んでいる		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていない		・今後検討していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	スパーク協会による年2回のスキルアップ研修を受講している		・必要があれば、オプション研修を行う
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング前にアセスメントを行い、計画更新月にモニタリングと計画の作成を行っている		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	情報共有の際に、お子様の様子や課題等の確認を行い、今後の療育内容を確認し計画を作成している	・子どもの状態や課題を相互で分析した上で計画が作成されている	・発達段階に応じて、シェアの機会を提供している
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	情報共有の際に、お子様の様子や課題等の確認を行い、今後の療育内容を確認し計画を作成している		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書の支援内容に沿った療育を行っている		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	リーダーが中心になり、療育士全体でプログラムを立てている		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	当てはまらない		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	発達段階に応じた療育内容のため、同じ内容になる事もあるが、固定化しないように様々な遊びを発信している	・同じ場所、同じ内容ばかりが多いように感じる	・同じ内容でも、目的や意図が違うため、フィードバックの際には目的や意図、実施した結果等を細かく伝え、こちらの考えを理解していただけるようにする
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	計画書にて、療育内容の確認や、療育士間で内容の確認を行っている		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後に、お子様の様子や次回の療育内容についての相談や確認を行っている		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回、提供記録を作成している		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月毎にアセスメントとモニタリングを行い、計画書の見直しと作成を行っている			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	必要があれば参画している		・今後も必要があれば参画していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	当てはまらない		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	当てはまらない		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要な情報の共有を行っている		・引き続き、必要な情報の共有を行う
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要な情報の共有を行っている		・引き続き、必要な情報の共有を行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	外部研修で必要があると感じた研修は受講している。また、定期的に独自の研修を受講している		・今後も、市及び県主催の研修に積極的に参加していく
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、保護者からの意見も踏まえ、必要ないと感じている		
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	見学や体験等の受け入れをしている		・今後も見学や体験等の受け入れを積極的に行っていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担額については、利用前の契約時に説明している。また、フィードバック時や個別支援計画書の説明の際に支援内容について説明している	・説明の仕方について、丁寧さ、コミュニケーション力などが不足する場合もある	・支援の内容について、丁寧にわかり易く説明することを心掛ける。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書は半年に一度作成し、保護者に説明している		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	希望があれば実施している		・必要性を感じた保護者には実施していく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回の療育終了後のフィードバックの際に情報交換をしている	・終了後にその日の事柄を詳しく伝えていただくので安心している	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	特性(自閉傾向)に関する行動への助言を行っている	・育児や発達状況に関する悩みを聞いていただき助言をいただけていて助かっている ・職員の専門性について、児童をその障害で決めつけ、可能性を否定するような言い方はやめてほしい	・そのような意図の発言はしていないが、今後助言をする場合は、誤解のないように慎重に言葉を選び伝えていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は行っていない		・保護者からの要望があれば検討していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	マニュアルを作成している 内容によるが、療育についての苦情の場合、その都度保護者に説明し、理解していただいている		
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	専門用語はなるべく使わず、分かりやすく説明しよう意識している		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	特になし		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵のついたキャビネットの使用や、個人情報のある書類については、表に置かないようにしている		
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染症対応マニュアルを策定し、いつでも見られる場所に保管している	・契約時に説明を受けいている	・今後も契約時に説明をしていく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、避難訓練を実施している		
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	1人が受講し、他の職員に研修報告を行っている。また、虐待防止委員会を開催し、虐待について話し合う機会を設けている		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う場面はないが、個別支援計画書に記載し、説明、同意を得ている		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事をする場面がない		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった場合は全員に周知し、更に書面にて報告、いつでも見られる場所に保管している		